



議案20件、報告1件を審議・可決 9月町議会定例会報告

9月3日から10日までを会期に開かれた令和3年第5回町議会定例会では、条例の一部改正、令和2年度歳入歳出決算の認定、令和3年度補正予算など、議案20件および報告1件が審議されました。町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとおりです。



町政の主要事項 報告から

町の新型コロナウイルス感染症の対応について

8月8日に福島県非常事態宣言が発令されたことを受け、町では、県独自の感染防止対策などの内容と感染防止

のための注意喚起をケーブルテレビや全戸配布チラシにより周知しました。また、町内の感染防止を図るため、9月12日までの間、さゆり公園とロータスインの宿泊、オートキャンプ場などの利用者を会津管内に限定し、さらにロータスインの温泉と無料休憩所の利用者を町内者に限定する対策を講じました。町内での感染拡大防止に向け、引き続き、最大限の感染防止対策を徹底してまいります。

新型コロナウイルスのワクチン接種

現在の進捗状況について、高齢者への接種は7月末でお

おむね終了し、65歳以上の2857人の91・3割にあたる2609人が2回目の接種を完了しました。

また、8月2日からは64歳以下の基礎疾患のある人への接種を、8月17日からはその他の人への接種を開始しました。町の集団接種は10月9日に完了する見込みです。

町デジタル戦略の推進

今年3月に策定した西会津町デジタル戦略に基づき、町公式LINEアプリケーションと情報集約ソフトを組み合わせた、町民の皆さんと行政の情報連携基盤の構築・導入のほか、首都圏企業・人材交流事業、事務業務の効率化に向けた調査などを順次進めています。

また、本年度より新たに、特に高齢者にデジタル技術への興味・関心を持つてもらえるように、自治会集会所などにアウトリーチのデジタル教室や、よろず相談を開催しています。このほかにも、町民の皆さんに意見やアイデアを募

り、多様な意見を集めて施策等に反映することが協働の基盤「町民参加型合意形成プラットフォーム」の構築、申請・届出などの行政手続きをパソコンなどで行えるようにする申請手続きオンライン化などの取り組みを進めています。

中心エリア整備構想の策定

町では、町民の皆さんが将来も安心して暮らし続けられるまちづくりの実現に向け、野沢地区中心部と子育て・教育拠点施設が集中する森野地区、さゆり公園・福祉施設周辺を加えた中心エリアについて、現状の把握、課題の整理や分析、エリア別に必要な機能など、その方向性について取りまとめる構想の策定作業を進めています。

構想の策定にあたり、幅広い意見を参考とするため、公募を含め24人の委員による「まちづくりデザイン会議」を組織し、7月29日に第1回の会議を開催しました。



▲中心エリアの現状を話し合うまちづくりデザイン委員会の皆さん

農作物の生育状況

今年は、梅雨明けから気温が上昇し、特に8月上旬は猛暑となったため、水不足や園芸作物、水稲での収穫量の減少、さらに品質の低下が懸念されたことから、関係機関と連携した営農情報の提供に努めてきました。引き続き、生育状況や病害虫の影響、台風の動向や価格の変動などに注

視しながら、迅速かつ適切に対応してまいります。

鳥獣被害の防止対策

本年度の対策としては、特に被害が深刻なイノシシ対策に対応するため、9月1日付けで有害鳥獣対策担当の地域おこし協力隊1名を採用しました。今後は、すでに配置している専門員と連携して被害の低減に向けた取り組みを進めていきます。

電気柵の設置については、8月末日現在で、個人45件、団体16件の設置に対し、町より経費の助成を行い、合計で延長約26kmの電気柵を設置しました。

環境共生林の整備では、橋立地区および宮野地区で間伐事業に取り組む予定です。

鳥獣駆除については、町猟友会の協力の下、8月末現在で、イノシシ16頭、ツキノワグマ9頭、ニホンザル17頭を捕獲しています。

町では引き続き、わな免許に要する取得費用の支援を行うなど、捕獲体制の構築・強

化に取り組みながら、鳥獣被害の防止に向けた対策を複合的に実施し、町民の安全安心の確保と、農作物への被害軽減に努めてまいります。

子育てコミュニティ施設の整備

本施設工事は、9月末までの工期で進めており、現在は全体の6割程度の進捗状況です。また、施設の愛称は公募を行い、現在、選定作業を進めています。開所日および愛称については、決まり次第、広報紙などを通じ町民の皆さんにお知らせしていきます。

可決された議案

◆町税条例の一部改正

令和3年度税制改正に伴うたばこ税に係る所要の改正

◆町手数料徴収条例の一部改正

正II法改正に伴うマイナンバーカードの再交付手数料に係る所要の改正

◆町税特別措置条例の一部改正

正II過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の

施行などに伴う所要の改正

◆令和2年度決算の認定（一般会計ほか）

◆令和3年度一般会計補正予算（第3次）

普通交付税の決定および令和2年度繰越金の確定、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の留保分を実施する事業など3億4912万2千円を増額

◆令和3年度特別会計等補正予算（国民健康保険・介護保険特別会計、水道・下水道事業会計）

町過疎地域持続的発展計画の策定

◆財産の取得

町民バスの更新
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること
貝沼利則さん（呼賀）、長澤文子さん（芝草）を推薦



税徴収の取り組みが評価 個人県民税優良町として表彰

令和2年度個人県民税優良市町村が発表され、本町の収納率や税徴収の取り組みが認められて、県から表彰を受けました。

本町の令和2年度の収納率は98.79%で、前年度を0.66%上回る収納実績となり、収納率の増加や税徴収に向けた町の取り組みなどが評価されました。

8月27日には町役場で個人県民税優良町知事感謝状伝達式が行われ、会津地方振興局の高野武彦局長（写真右）より薄町長へ感謝状が伝達されました。伝達を受け、薄町長は「税金は町の発展のために有効に使っていききたい。今後も町と職員をあげて収納率アップに取り組む」とあいさつしました。





“デジタル”を気軽に楽しく体験してみませんか？ 自治区に出向いてデジタル教室を開催中！

8月23日に野沢・1町内自治区、同30日には奥川・中町自治区で、デジタル教室が開催されました。

町が主催するこの教室は、デジタル機器の操作体験を通して、デジタルの良さや楽しさを知ってもらうことを目的に、自治区の集会所などに出向いて開催しています。

当日の参加者の中には、初めてタブレット機器に触った人もいて、最初は不慣れな様子でしたが、講師や支援員と一緒にゆっくりと体験することで操作に慣れ、デジタル機器の便利さを実感していました。

デジタル教室の開催希望は随時受け付けています。自治区だけでなく、老人クラブなどの団体でも開催が可能です。詳細については、右記まで気軽に問い合わせください。



▲タブレット機器を実際に使って体験する参加者の皆さん（野沢・1町内）

〈申込み・問い合わせ先〉

企画情報課 デジタル戦略室
☎ 45-4536



専門分野を活かし、地域課題の解決に取り組む 地域おこし協力隊が新たに着任

地域おこし協力隊として児山^{こやまたけし}武士さん（東京都出身）が新たに着任し、9月1日に辞令交付式が行われました。

児山さんは農林振興課に所属し、町猟友会や専門員と連携し、町内で拡大しているイノシシなどの有害鳥獣被害対策に取り組んでいきます。児山さんを含め、町で活動する協力隊員は全員で15人となりました。



お気軽に相談ください 秋の行政相談・人権相談を行います

10月18日から24日は「行政相談週間」です。町では、特設行政相談所を開設し、役所や特殊法人などの仕事に対する苦情や意見、要望を受け付け、解決のお手伝いをします。

また、併せて特設人権相談所を開設し、人権問題に関する相談などに応じます。相談は無料で秘密は堅く守られます。なお、相談にお越しの際はマスク着用のご協力をお願いします。

◆行政相談委員 田崎宗作さん（小杉山）

◆人権擁護委員 長谷川孝志さん（森野）、嶋田純子さん（下野尻）、長谷川成博さん（梨平）

◎ 10月13日（水）

午前9時30分～正午 新郷連絡所
午後1時～3時30分 奥川みらい交流館

◎ 10月14日（木）

午前9時30分～正午 保健センター
午後1時～3時30分 町役場（第1委員会室）

〈問い合わせ先〉

（行政相談）総務課 行政管理係 ☎ 45-2211
（人権相談）町民税務課 町民生活係 ☎ 45-2215



町の要職を歴任し、長年にわたり町政発展に尽力 山口岩男さん 叙勲・瑞宝双光章を受章

9月2日、元副町長の山口岩男さん（下野尻）への瑞宝双光章伝達式が町役場で行われました。式では、会津地方振興局の高野武彦局長より山口さんに勲記と勲章が伝達され、薄町長から祝福の言葉が贈られました。

山口さんは昭和32年4月に町役場に入庁して以来、約50年にわたり町政の発展に尽力されました。その間、平成2年8月からは町収入役、同12年4月からは町助役、同19年4月から20年4月まで副町長を務めました。受章にあたり山口さんは「奉職してから約50年、よく務めたと自分を褒めたい。今後も健康に留意しながら、微力でも町政のために協力していきたい」とあいさつしました。



▲写真左から薄町長、山口さん、高野局長

新潟・福島豪雨災害から10年を迎える 「あいつの今」パネル展

平成23年（2011）7月に発生した新潟・福島豪雨災害から10年が経過したことに合わせ、「あいつの今」パネル展が8月27日から9月15日まで道の駅にしあいづで開催されました。県が主催しているこのパネル展は、新潟・福島豪雨災害の記録と復興の現状を広く発信することを目的としています。今回は、現在も一部区間で不通が続くJR只見線の様子や、本町の当時の被災状況などが写真とともに展示されました。

8月27日には、薄町長や県の関係者らが参加して、パネル展のスタートを記念したテープカットが道の駅にしあいづで行われました。



戦没者を悼み、恒久平和を祈念 令和3年度 町戦没者追悼式

9月2日、町公民館で西会津町戦没者追悼式が新型コロナウイルス感染症対策として規模を縮小して行われました。式では、参列者全員で黙とうを捧げた後、薄町長が式辞を述べ、清野佐一町議会議員や西会津町遺族会を代表して三瓶鐵江さん（出戸）が追悼の辞を述べました。式の最後には参列者全員で献花を行い、戦没者の安らかな眠りを祈るとともに、恒久平和への誓いを新たにしました。

